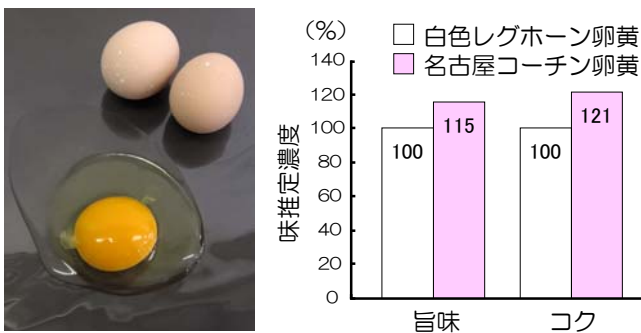


研究トピックス

名古屋コーチン卵の美味しさを数値化

名古屋コーチン卵は、「卵かけごはん」で食べた時に濃厚な味わいがあると消費者から高い評価を受けています。今回、味覚センサーを用いて卵の美味しさを客観的に数値化した結果、名古屋コーチン卵の卵黄の旨味が白色レグホーン卵（白卵）と比べて、食べた時に感じる味（旨味）、余韻として残る味（コク）ともに優れることがわかりました。（畜産研究部）



本研究は平成24年度財団法人旗影会助成事業により実施しました。

鉄砲ノズルで茶園の農薬散布省力化

茶園での農薬散布は、従来かまぼこ形の樹形に合わせて1.5畝ずつスズランノズルで上から散布していました。近年乗用摘採機の普及により水平に近い樹形になってきていることから、4畝ずつ横から一気に散布できる鉄砲ノズルを使った農薬散布の省力効果を検討しました。鉄砲ノズルによる散布では、散布ムラはあるものの、害虫防除効果は変わらずに、農薬散布時間を約35%短縮できることがわかりました。（東三河農業研究所）



鉄砲ノズル

スズランノズル

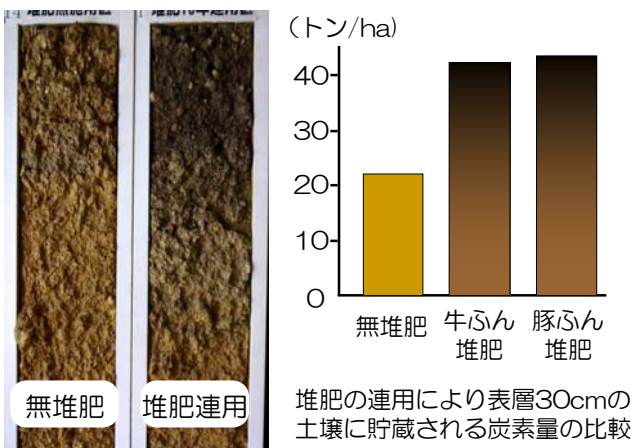
サシバエの被害低減を目指して

サシバエは吸血昆虫で牛のストレスの原因となったり、病気を媒介するため大きな問題となっています。そこでサシバエ防除技術の確立を目指し、株式会社タケダと共同研究に取り組んでいます。これまでにサシバエの集まる色や高さを明らかにしました。今後、効率的なサシバエ捕獲技術を開発していきます。（畜産研究部）



有機物による土づくりが地球温暖化を緩和

農耕地土壌は、有機物（＝炭素）を貯蔵し、二酸化炭素の大気への放出を抑える役割があります。堆肥の連用（露地畑に牛ふん堆肥で年間3t/10a、豚ふん堆肥で年間2t/10aが基準）や、緑肥の作付け等の土づくりによって、土壌中に蓄積する炭素量が増加することを明らかにしました。（環境基盤研究部）



堆肥の連用により表層30cmの土壌に貯蔵される炭素量の比較

本研究は生産環境総合対策事業「土壌由来温室効果ガス・土壌炭素調査事業」（農水省）により実施しました。

研究短報第106号

編集・発行 愛知県農業総合試験場

〒480-1193 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)

FAX 0561-63-0815

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>